２．障害者を支援するボランティア活動

9団体

こだま精神保健福祉をすすめる会ハートtoハート			平成11年発足
活動内容	本会は心と心が通い合う地域づくりを目指す。一人で心の悩みを抱えている人、生活がうまくできず困っている人、ひと付き合いが下手で友達ができない人など、心の問題を抱えている人たちとボランティアの人たちが一緒になって、暮らしやすい町作りを考え活動する。資源回収とピザ焼きなどが主な活動です。		
定例会	年４回　佐久間さんち	会員数	４２名
PR	精神障害というイメージを変えていきたい。人それぞれの違いがあり、生き方も違うと思う。その人がその人らしく活き活きと生活できるような世の中にしていきたい。		

ほきの六点会			平成23年発足
活動内容	塙保己一先生遺徳顕彰会の会報誌の点訳 小学生の総合学習・ボランティアスクール		
定例会	毎月第１・第３水曜日午後 はにぽんプラザ	会員数	７名
PR	塙保己一生誕の地という事もあり、視覚障害者への支援を行なっています。		

本庄市児玉郡広域手話通訳問題研究会			平成14年発足
活動内容	・聴覚障害者の福祉向上　　・手話通訳派遣事業を充実させるための学習、研究 ・当事者団体と地域活動への参加など		
定例会	毎月第１・３・４・５木曜日　　午後２時～４時	会員数	１８名
PR	毎週木曜日午後2時～4時定例会を開いています。聴覚障害者とともに様々な問題についての理解を社会に広めていけるよう活動しています。		

本庄市児玉郡広域聴覚障害者福祉協会			平成14年発足
活動内容	・聴覚障害者の福祉向上 ・手話通訳派遣事業を充実させるための学習研究・手話講習会の補助 ・当事者団体と地域活動の参加など		
定例会	毎週木曜日　午後１時３０分～３時３０分 はにぽんプラザ	会員数	３１名
PR	手話の普及と啓発		

本庄市こだまの会			昭和55年発足
活動内容	視覚障害のある方のために市の広報などの録音、編集してCDの作成及び郵送を行う。朗読技術向上のため、講習会を行う。視覚障害者への奉仕活動を自主的に行う。		
定例会	毎月第２金曜日　午前１０時～正午 はにぽんプラザ　他	会員数	２１名
PR	昭和55年に発足した音訳ボランティアスクールです。本庄市発行の広報ほんじょう等を音声にしCD版の「音の広報」として視覚に障害のある方に郵送しています。また、「声の広報」は市のHPに掲載されパソコン・スマホからどなたでも聞くことが出来ます。自分磨きの一つとして本を読むことが好きな方、ボランティア活動ができる方、私たちと一緒に活動しませんか。		

本庄手話サークル			昭和58年発足
活動内容	・聞こえない人との交流を通して、手話を学ぶ ・聴覚障害者団体の行う事業への協力　ほか		
定例会	毎月第１木曜・金曜、第３木曜・金曜、第４木曜 はにぽんプラザ他	会員数	２４名
PR	はじめての方も大歓迎！な手話サークルです。木曜は昼（午前中）金曜は夜に活動していますので、生活時間にあわせて参加できます。手話という新しい言語に触れて自分の世界を広げてみませんか？		

本庄点訳友の会			昭和57年発足
活動内容	点訳活動（広報・カレンダー・点字投票の判読）、学校での点字教室の指導、視覚障害への支援活動を行う。		
定例会	毎月第２水曜日　　本庄南公民館	会員数	４名
PR	広報ほんじょうの点訳。小学校などでの点訳講座などを行っています。一緒に活動してくださる方を募集しています。		

NPO 法人 ま・るーく			令和元年発足
活動内容	知的・発達障害のある子どもの親の支援、お話会、サロンの開催（2回/月）、勉強会、講演会、各種イベント開催		
定例会	毎月第４水曜日　午前１０時～午後１時 北泉公民館	会員数	３７名

ロービジョンフットサル日本代表を応援する会　本庄支部			平成29年発足
活動内容	障がい者スポーツ		
定例会	不定期　　福祉の店　太陽	会員数	２０名
PR	目の見えにくい視覚障害者（弱視者）が残された視力・視野を駆使してプレーするフットサルです。ルールはフットサルとほぼ同じで選手は弱視状態のままプレーします。「世界の舞台を目指す代表アスリートの存在がスポーツそのものの価値を高め、夢と感動、誇りや喜びを与える」ことを信じ勝利にこだわるフットサルを目指しています。		